

一般質問通告書

令和5年12月定例会

1番 山田伸幸議員（一問一答）

1 自衛官募集事務の扱いについて

- (1) 事務の執行はどのように行われているのか。
- (2) 名簿提供と個人情報保護の関係はどのように整理されているのか。

2 中学校における部活動について

- (1) 存続が危ぶまれている部活動はどのように行われているのか。
- (2) 教員による部活動への関わりはどのように行われているのか。
- (3) 部活動の地域移行への取組はどのように行われているのか。

3 運転免許証を返納した住民の不安について

- (1) 免許証を返納しても安心できるまちづくりをどのように考えているのか。
- (2) 自家用車がなくても移動に便利な公共交通の整備の方針は確立されているのか。
- (3) 重点支援交付金の推奨事業メニューのうち、事業者支援として地域公共交通が掲げられている。これを活用する考えはないか。

2番 中島好人議員（一問一答）

1 増額された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について

- (1) 予算額1兆6,000億円（うち①低所得世帯支援枠1兆1,000億円、②推奨事業メニュー5,000億円）が増額補正されたが、本市での歳入額はそれぞれ幾らになるか。

- (2) 低所得世帯支援枠について本市はどのように活用するのか。

- (3) 推奨事業メニューのうち生活者支援と事業者支援を具体的な活用について

ア 生活者支援として、低所得者やひとり親世帯などに福祉灯油制度を導入してはどうか。

イ 事業者支援として、小規模企業、個人事業者への燃料費、電気代高騰対策として支援を行ってはどうか。また、社会福祉施設等の電気代、燃料費、助成金を引き上げてはどうか。

2 学校給食の無償化について

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、学校給食無償化にする考えはないか。

3 公営住宅問題について

市営住宅への入居条件にある保証人の確保を前提にしないようにしてはどうか。

4 若年がん患者在宅療養支援事業について

若年がん患者在宅療養支援事業を創設してはどうか。

3番 恒松恵子議員（一問一答）

1 公立保育園の給食事業環境の取組について

近年、食材費が高騰しているとともに、調理に伴う燃料費の負担も重くなっている。そのような中で、従来どおりに限られた予算内で安心安全な給食やおやつが提供できているのか。食育と保護者の負担軽減の観点から、具体的な内容と衛生面から改善できるものについて聞く。

(1) 給食をどのように提供しているか。

(2) おやつをどのように提供しているか。

(3) 地産地消にどのように取り組んでいるか。

(4) 3歳児以降の主食持参は、どのような考えから実施されているのか。

(5) 3歳児以降の主食について、今後、保育園自身で用意、準備、提供できないか。

2 子どもの紙おむつの対応の取組について

使用済み紙おむつの処分については保育園で実施することになり、保護者から喜ばれている。さらに子育て世代から選ばれるまちになるために、子どもの紙おむつの現状とこれからの支援について聞く。

(1) 紙おむつの処分が始まって、具体的な保護者の声はどのように受け止めているか。

(2) 個人で持参されている紙おむつをどのように管理されているのか。

(3) 紙おむつを市町が支給し、保育園で利用している他市町では保育者の負担も軽減されるとともに保護者の荷物も減少し、好評であると聞く。予算措置をして、乳児に対する紙おむつを提供できないか。

(4) 未就園児のために、子育て支援センターでの紙おむつを無償で配布できないか。

3 放課後児童クラブの食事環境の取組について

放課後児童クラブは就労する家庭にとって重要な位置づけと考える。延長保育の実施により、開設時間については適時適切に保護者のニーズに対応されていると思うが、食事やおやつ環境について充分議論が進んでいないと感じられる。そこで、本市における具体的な内容と改善できるものについて聞く。

- (1) おやつをどのように提供しているか。
- (2) 長期休業中の昼食をどのように提供しているか。
- (3) 多忙な家庭では、長期休業中に昼食を準備するのは負担が大きい。弁当事業者の利用を希望する家庭に対して、有料で食事を提供できないか。

4 番 吉 永 美 子 議員 (一問一答)

1 高齢者や障害者への支援について

- (1) 昨年3月議会で、地域見守り協定ができたものとなっていないことを指摘したが、その後の対応はどうか。
- (2) 同じく昨年3月議会で提言した、音声コードの活用について、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が昨年5月に施行されたことを受け、利用促進をすべきではないか。
- (3) 障害者の排泄管理支援用具の給付基準額は実態に合っていると考えているか。

2 デフリンピックへの支援について

聴覚障害者の五輪と呼ばれるデフリンピックの大会が2025年に日本で開催されることから、本年3月議会でデフリンピックへの支援について質問したが、その後の検討状況はどうか。

3 ふるさと納税の推進について

活用メニューの拡充予定はあるか。

4 第9回現代ガラス展について

市内開催について総括状況はどうか。

5 番 矢 田 松 夫 議員 (一問一答)

J R 小野田線、美祢線について

(1) 赤字ローカル線の見直しについて問う。

ア 小野田線の現状について、なぜ、利用者が減少し続けているのか。

イ 美祢線の現状について、なぜ、美祢線だけが存廃の議論になるのか。

(2) 維持存続について問う。

ア J R 西日本への働きかけについて、本市独自での対応をされてきたのか。

イ 厚狭駅は、本市にとって観光発信の基地である認識はあるのか。

(3) J R 美祢線利用促進協議会に関係する市・県との連携について問う。

本市の位置づけと役割は何か。

(4) 小野田線・美祢線を絶対廃線させない意気込みについて問う。

ア 廃線にすると、日常生活への影響がどのように発生するのか。

イ JR西日本とどのような協議をされているのか。

6番 岡山 明 議員 (一問一答)

1 小中学校のトイレの整備状況について

- (1) 市内の学校のトイレの洋式化率はどの程度か。
- (2) 学校の洋式化率では、全国、県内において、本市の状況はどうか。また、今後の洋式化をどのように対応していくのか。
- (3) 小学校に入学する児童においては、トイレの事情もあるので、和式トイレでの練習も兼ねて、小学校のオープンキャンパスのような行事を開催されてはどうか。
- (4) 避難場所・避難所にもなっている学校の普通教室、体育館等における多目的トイレの設置状況はどうなっているか。

2 公共施設の街灯照明等について

- (1) 避難場所でもある地域交流センターの街灯照明の点灯・消灯時間はどのようになっているのか。また、地域交流センターによっては、その駐車場の入り口が封鎖されているがなぜか。
- (2) 夜間の公園利用者が増えているが、公園の街灯照明設備の、点灯・消灯時間はどのようになっているか。
- (3) 中央図書館や地域交流センターにはブックポストを設置しているが、その設置場所はどのようになっているか。夜間ブックポストを利用する場合に、周りに、照明の点灯がなく、転倒するリスクがあるが、その対応はどのようになっているのか。
- (4) 地域交流センターでは、常夜灯の設置も必要と思われるがどうか。

7番 松尾 数則 議員 (一問一答)

1 誰にでも分かりやすい住居表示制度の確立

- (1) 住居表示にはどのような目的や役割があり、なぜ必要なのか。
- (2) 山陽小野田市の住居表示制度において、どのような基準で設定されるのか。
- (3) 地番と住居表示の違いは何か。
- (4) 住居表示に関する取組の今後の展望や課題は何か。また、市民にとってさらなる利便性の向上のための計画はあるか。

2 中山間地域の今後の取組について

- (1) 中山間地域において、これまで地域をけん引してきた団塊の世代も高齢化により、かつての地域づくりのリーダーの第一線から距離を置き始めている。一方、その後継者は地域の何を継承すべきか戸惑いが見ら

れる。これからは、市外に出た子供たちにUターンを促す等、地域外の活力を取り込み、半農半Xやスマート農業化等、地域でできることは地域で行うシステムを考える必要がある。「食料・農業・農村基本法」第37条では「国及び地方公共団体は、食料、農業及び農村に関する施策を講ずるにつき、相協力する」、つまり、国と地方自治体が対等な関係で協力し、農政を行うのが基本であるとしている。今後、独自の補助制度を設け、関係人口を増やし、人口が減少しても持続できる地域をつくる手段はあるか。

- (2) 高齢化や担い手不足のなか、農地集積・集約化の取組は順調に推移しているのか。また、耕作放棄地は増加しているように見えるが、今後も土地の集積を進め、担い手が利用する農地面積を8割にすることは可能か。
- (3) 農林水産省の所管の「デジ括」中山間地域制度とは中山間地域等の条件不利地域では、人口減少や高齢化が都市に先がけて急速に進行しており、農業の効率性や生活サービス、交通手段などの面で様々な課題を抱えている。一方で、例えば、中山間地域の人口は全国の約1割に過ぎないものの、農業産出額と耕地面積ではそれぞれ4割を占めるなど、中山間地域等は、我が国の中で重要な役割を果たしており、また、その豊かな自然や魅力ある地域資源・文化等は、次の時代につなぐ価値ある拠点としての可能性を秘めている。このため、基幹産業である農林水産業の「仕事づくり」を軸として、地域資源やデジタル技術を活用し、多様な人材を巻き込みながら社会課題解決に向けて取組を積み重ねることで活性化を図る地域を「デジ活」中山間地域として登録する制度である。この制度に山陽小野田市はどのように取り組もうとしているのか。

8番 中岡英二議員（一問一答）

山陽小野田市民病院の経営改善について

令和4年度の決算は、新型コロナウイルス感染症に関連した国・県からの補助金が増加された結果として、2億5,437万2,000円の純利益が発生した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症関連の補助金も大幅に減り、経営改善が必要となる。今後、入院・外来患者の増加に努め、どのように収支の改善に取り組んでいくのかを聞く。

- (1) 市民病院と民間病院との役割の違いは何か。
- (2) 市民病院での新規入院患者の受入れを増やしていく施策はあるか。
- (3) 医師・看護師・薬剤師が不足している現状と、その対策はあるか。
- (4) 市民病院の特長である産婦人科と透析医療をどのようにPRし、どのよ

うに患者の受入れを増やしていくのか。

- (5) 入院患者の転倒・転落のリスクをどのように管理されているのか。看護計画がどのような体制で実施されているのか。令和元年～令和4年までの転倒・転落事故の報告件数とその対策はあるのか。
- (6) 訪問看護ステーションの利用状況はどうか。
- (7) 一般会計からの繰入金が増加傾向にあるが、その要因は何か。
- (8) 患者医療費自己負担額の未収金についてどうするのか。

9番 藤岡修美議員（一問一答）

1 中学校部活動の地域連携、地域移行について

令和4年度に、国は中学校部活動の地域移行に関する検討会議提言を公表し、令和5年度から3年間を「部活動の段階的な地域移行」の改革集中期間として位置づけた。そして今年度、山口県も「新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」を公表し、県内全ての市町において、「休日の学校部活動の地域連携、または、地域移行に向けた取組」を実施するとしている。そこで本市の取組を聞く。

- (1) 休日の部活動の地域連携、地域移行に向けた本市の取組状況はどうか。
- (2) 地域や学校によって状況が異なる中、県が策定した「新たな地域クラブ活動」の在り方について、どのように考えているのか。
- (3) 「新たな地域クラブ活動」の運営団体や実施主体について、どのように考えているのか。
- (4) 「新たな地域クラブ活動」における指導者をどのように確保、育成していくのか。
- (5) 「新たな地域クラブ活動」の活動場所について、どのように考えているか。

2 ふるさと納税によるまちづくりについて

本市はふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる「協創によるまちづくり提案事業」に今年度から取り組んでいる。そこで本市の取組を聞く。

- (1) 募集要項に提案事業の対象となる団体の要件が規定してあるが、具体的にはどのような団体が対象となるのか。
- (2) 募集要項に提案事業の対象となる事業が規定されているが、具体的にはどのような事業が対象となるのか。
- (3) 今年度の提案事業の実施状況はどうか。
- (4) 今年度の提案事業の実施状況を踏まえて、「協創によるまちづくり提案

事業」をこれからも継続していくために、どのような課題があるか。